

テアトロ

6
2023

第36回テアトロ新人戯曲賞募集!

〔特集〕この時代、今こそ演劇を!

池田政之/村田元史/中村ノブアキ/三條三輪/跡見 梵
篠本賢一/安達紀子/亀井奈緒

【批評的エッセイ】「誤餐」と「エドモン」/渡辺 保

追悼さようなら、奈良岡朋子さん! /水落 潔
高橋 豊さん!

◎連載 共創する空間へ66 西堂行人

今月選んだベストスリー 346 高橋宏幸

◆ 戯曲 ◆

梅子の梅根性

南出謙吾

太宰治裁判

福井次郎





4月の

関西

不条理演劇の新作、そして異化効果

劇団⊕太陽族【群羊】

清流劇場【セチュアンの善人】

エイチエムピー・シアターカンパニー

【リチャード三世／馬とホモサケル】

無名劇団【あげとーふ】

九鬼葉子

清流劇場が、ブレヒトの『セチュアンの善人』を上演（3月11日、大阪市の一心寺シアター倶楽で所見、田中孝弥台本・演出、市川明翻訳）。

神様（阿部達雄）に一夜の宿を提供した心優しい娼婦のシェン・テ（中迎由貴子）。神様は「善人であれ」と言い残し、大金を渡して去る。その金で弁当屋を始めるが、貧乏人達にたかられ、破産寸前に。やむなく従兄弟のシェイ・タという、冷酷で合理的な分身を作り出す。彼女はシェイ・タとなって居候を追い出し、店はブラック企業と化する。善良であることは、破滅を意味する。資本主義の限界を示すとともに、男中

心の金権社会を女が生き抜くには、男になるしかないという、ジェンダーを主題にしたドラマでもある。現代に通じるテーマを、創意工夫によって明確化した。シェン・テと長屋の人物達は大阪弁で話し、テンポのいい生活言語で庶民の活力と悲しみを焙り出す。シェイ・タは標準語で、遠くからやってきた、生活圏の異なる人物であることを示す。苦い現実を描くが、シェン・テと失業パイロットのヤン・スン（上田泰三）が恋に落ちる瞬間のロマティックな描写や、援助交際を求めのお金持ちの床屋（高口真吾）の滑稽な造形など、劇の楽しさで一気に魅せる。段ボールを積んだかご台車4台を俳優達がスピーディに回転させる場面転換。ピアノの生演奏（仙波宏文）が絶妙なタイミングで入り、品がいい。

かに困難であるかを切々と訴える。だが神様は相変わらず、「善人であれ」と都合のいいお題目を唱えるだけ。にこやかに去って行く神様の後ろ姿に向かい「助ける」と叫ぶシェン・テは、男女二つの人格が統合したような気風のいい大阪の姉さん像。中迎由貴子は、女、男、そして統合した第3の性を演じ分け、好演。

問題は解決せず、最後は全員が舞台上に座り、観客に向かって、結末を探すことを促す歌を歌う。モラルと経済が両立する社会の実現の難しさ。資本主義と社会主義の限界。打破するような社会構造はあるのか。政治家のお題目ではなく、庶民の言葉から生まれることに期待したい。

終盤、シェン・テ殺害の嫌疑をかけられたシェイ・タは、皆の前でサンングラスを取り、上着を脱いで髪をほどき、シェン・テに戻る。そして神様に向かい、人を助け、自分も助かることがい